

「万人に対応するミュージアムを目指して ～ICOM, オリパラへの対応, ユニバーサルデザインの可能性～」

2019 年及び 2020 年, 我が国において開催される ICOM, オリパラに向けて, ミュージアムの経営・事業展開時の体制を強化する目的で, 現状の施設や展示, さらに, 研究員のスキル, 能力の面等において見直しや改善策を講じる必要がある. 万人に対応するミュージアムを目指す際, その多岐に渡る利用者への対応は正に多様である.

第 1 回研究会は, その中から, 急増する外国人利用者や, 身体に障害を持たれている方々が利用する際の課題として, ミュージアムが発信する情報提供の面における多言語化, 多機能化, そして, 活用しやすい施設のあり方, 展示手法改善, 講座, 観察会時における研究員のスキル等について議論する場とする.

日 時: 平成 29 年 12 月 2 日 (土) 13 時 00 分～16 時 45 分
(受付 12 時 30 分～)

場 所: 科学技術館 6 階第 1 会議室 (東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号)

参加費: 無料

***** 研究会スケジュール (プログラム) *****

(1) 研究部会趣旨説明: 13 時 00 分～13 時 15 分

新 和宏 (研究部会長 千葉県立中央博物館 分館 海の博物館長)

(2) ケーススタディー 1: 13 時 15 分～14 時 00 分

「江戸東京博物館常設展示室における多言語化の取組み」

小林 愛恵 氏

(東京都江戸東京博物館 展示企画課展示事業係 主事 (学芸))

(3) ケーススタディー 2: 14 時 00 分～14 時 45 分

「博物館との連携による豊かな学び

—筑波大学附属聴覚特別支援学校の実践事例から—

金子 俊明 氏

(筑波大学附属聴覚特別支援学校 教諭)

< 休 憩 > 14 時 45 分～15 時 00 分

(4) パネルディスカッション: 15 時 00 分～16 時 45 分

コーディネーター: 新 和宏

パ ネ ラ ー: 上記ゲスト等

参加ご希望の方は、①お名前②所属③ご連絡先（電話・メールアドレス）を明記の上、
下記までお申し込みください。

【お申込み先】日本ミュージアム・マネジメント学会事務局

〒135-0091 東京都港区台場 2-3-4 (株)乃村工藝社 文化環境事業本部内

電話・ファックス 03-3521-2932 / メールアドレス kanri@jmma-net.org

※学会 HP の専用申込フォームもご利用いただけます。http://ssl.edinc.net/research/